

エアゾール (フルティフォーム)

採用



製品名

フルティフォーム

分類

吸入ステロイド (ICS)

+

長時間作用性 β_2 刺激薬
(LABA)

チェック項目 (ピットフォール)

吸入前

- 最初の使用時や、使用間隔が一定期間空いた時に、
試し射ちをしていない
- 試し射ちの操作を、日常の吸入の際に誤って行っている
- 吸入前にボンベを振っていない
- デバイスを正しく安定して支持できていない
- 吸入前に薬剤残量カウンターを確認していない
- 吸入前に息を吐いていない

吸入時

- ボンベの底を指の力で押せない
- 薬剤噴射時に、呼吸同調が出来ていない
- 薬剤をゆっくり深く吸入できていない
- 薬剤噴射方法が不安定である
- 吸入時に吸入口を隙間なく覆っていない。
(クローズドマウス法の場合)
- 吸入直後の息止めをしていない

吸入後

- 吸入後のうがいをしていない

- いずれの問題点も発見できなかった

エアゾール (フルティフォーム)

フルティフォーム®をお使いになる患者さんへ

初回のみ必要な操作です。毎回行わないよう指導

初めて噴霧する場合

初めて噴霧する場合、または3日以上使用していない場合は、右の操作を行うことから①の手順に進んでください。



4回
空噴霧

吸入器をよく振った後、体から離してアルミ缶を押し、4回空噴霧します。

赤になったら再受診

カウンターが完全に赤色になったら、残りは約20吸入分です。なるべく早めに受診して、新しいフルティフォームを準備するようにしましょう。



フルティフォームは添加物として無水エタノールを使用しています。アルコールに過敏な方は医師・薬剤師に相談してください。
※詳しい吸入器の操作方法は、お薬に添付されている「フルティフォームを使用される患者の皆様へ」をご覧ください。

正しい方法で吸入するために、以下のポイントをチェック!

1 キャップの左右を持って外し、吸入器の底に親指をあて、アルミ缶を人差し指と中指で支え、吸入器をよく振ります。

カウンターの色を確認しましょう。

2 吸入器をくわえる前に、軽く息を吐いてください。

3 吸入口を軽く歯でくわえ、息を吸いながらアルミ缶を押し、お薬をゆっくり深く吸い込みます。

シュッと薬剤が出るまでしっかり押ししてください。

4 お薬を吸い込んだ後は、吸入口を口から離し、そのまま3秒以上、息を止めてください。

5 ゆっくり息を吐き出します。医師に指示された回数、①～⑤を繰り返します。吸入が終わったら、キャップをつけて保管してください。

6 吸入後には、必ずうがいをしてください。

主薬と噴霧ガスを均一にするため、噴霧前に容器を十分に振る必要があります。患者の混乱を防ぐためにも、振る必要のない薬剤も振ると指導します。

息吐きをしないと、吸入が十分にできません。十分に息吐きができているか確認します

肺内への薬剤の沈着率を高めるため、息止めが必要です。ただし無理をさせないこと

キャップをする前に、吸入口を拭くように指導します。

吸入ステロイドは口腔内カンジダや嚔声などの副作用を防止するため吸入後すぐにうがいをします。それ以外の吸入薬も統一化を図るため、うがいを行うように説明します。

エアゾール (フルティフォーム)

きちんと吸入できているのかな？

通常は、吸った感じがなくても正しい手順で吸入すれば、きちんと吸入できます。ただし、次のような場合には要注意！

吸入しているときに、吸入器の上部や自分の口の辺りに「噴霧」が見える場合、お薬をうまく吸入していない可能性があります。

その場合、正しい方法で吸入するためのポイントをチェックし、再度吸入してください。



薬剤の使用前に必ずカウンターを確認させてください

カウンターが赤色になったら、受診して新しいお薬の準備を！

カウンターの背景の色が赤くなったら、新しいフルティフォームを準備する目安です。

- アルミ缶を押すと、自動的にカウンターが動き、最初は緑色、使っていくうちに黄色、赤色へと変わっていきます。
- カウンターが完全に赤色になったら、残りは約20吸入分です。なるべく早めに受診して、新しいフルティフォームを準備するようにしましょう。
- カウンターの数字は以下のように表示されます。



120吸入用

120・110・100・90・80・70・60・55・50・45・40・35・30・25・20・15・10・5・0

56吸入用

56・45・35・30・25・20・15・10・5・0

注意！ カウンターが「0」になったら、吸入しないでください。「0」になってもアルミ缶を押すことはできますが、十分な量のお薬を吸入することはできません。

「フルティフォーム®の使い方」の動画をWebサイトでご覧いただけます。

<http://www.f-kyunyu.jp/>

● 視聴により発生する通信料は視聴者さまのご負担となります。

